

教師による心理教育的グループ活動の設計体験の評価

Evaluation of design experience of the teacher's psycho educational group activity

有沢孝治

Koji ARISAWA

東海大学教育研究所

THE Higher Education Research Institute, TOKAI UNIVERSITY

Key words : Ex.設計に対する教師の評価、学級経営、教師支援

1. 目的

200X年から200X+2年にかけて、K県H市の教育委員会と共同で公立小中学校の教師を対象に学級経営研修会を実施した。この研修会のねらいは、教師が学級状況や子どものニーズをふまえた目的のあるグループ活動(以下、Ex.とする)を設計できるようになることである。教師によるEx.設計の背景には、子どもに身近な教師がEx.を設計することで教育効果が高まるという考えがあるが、このような考えに基づいてもEx.の設計を教師自身が否定的に捉えていなければ効果は現れない。そこで本論では、Ex.の設計体験を通じて、教師がEx.を設計することをどのように評価するかを検証し、教師によるEx.設計の意義を確かめたいと考えている。なお、本論は小林・有沢(2009)と有沢・小林(2010)の研究を再構成した内容である。

2. 方法

学級経営研修会後に参加した教師(200X年19名、200X+1年度21名、200X+2年度18名)に行った3年分のアンケート(無記名、4件法と記述式の併用。4件法の質問は、Ex.体験の楽しさ、Ex.体験の役立ち、Ex.設計の楽しさ、Ex.設計の役立ち、Ex.設計の実践意欲の5問、記述式は役立つことの具体的な内容と全体的な感想を尋ねた)の結果を、分散分析と重回帰分析によって分析する。また、感想の分類も試みる。なお、研修内容は1日目にEx.の体験、2日目にEx.の設計を小グループで行うというものである。

3. 結果

参加教師はEx.の設計体験について72.4%が「とても楽しく参加できた」と回答し、74.1%が「学級経営にとっても役に立つと思う」と回答していた。また、「Ex.を自分で創って学級や学年では是非試したい」との回答は74.1%であった。

次に参加教師の属性ごとで質問項目の得点に差があるかをみる。学校種と性別を独立変数とし、アンケートの各項目(問1～問5)を従属変数として2要因の分散分析を行った。その結果、「Ex.設計は楽しい」で性別において男性に主効果が認められ($F(1, 54) = 12.71, p < .001$)、交互作用は認められなかった($F(1, 54) = .77, n.s.$)。

次に教師自らEx.を設計して学級や学年で試そうと思

うことには、何が影響しているかをみる。「Ex.設計に実践意欲」を従属変数とし「Ex.体験は楽しい」「Ex.体験は役立つ」「Ex.設計は楽しい」「Ex.設計は役立つ」を独立変数とした重回帰分析(強制投入法)を行った。その結果、「Ex.設計は役立つ」から「Ex.設計の実践意欲」に対する標準偏回帰係数($\beta = .52, p < .01$)が有意であった。なお、VIFを算出したところ、その値は小さく多重共線性の恐れがないことが示された。

感想は概ね肯定的なものであった。それらを分類(複数回答)すると「研修の方法が良かった」という主旨の感想が48.3%、「Ex.を実践する意欲が上がった」という主旨の感想が46.6%、「Ex.の設計体験が(学級経営に)役に立つと思った」という主旨の感想が44.8%であった。

4. 考察

「Ex.設計は役立つ」と「Ex.設計の実践意欲」で最高評価をしている参加教師がいずれも70%を超えていること、Ex.の設計を楽しんでいること以外はいずれの項目でも性別と学校段階での得点に差はみられないこと、肯定的な感想が多数みられることの3点を総合して考えると、性別や学校段階に関わらず、Ex.の設計を学級経営上役立つものと感じ、Ex.を自分で創って学級で試行したいと考えていることがわかる。また、この背景には、Ex.の設計体験が単に楽しかったからではなく、学校現場に役立つと認知したことがあると考える。

以上からEx.を設計して、試すことが学級経営に効果的であると教師が認知したと推測できる。また、Ex.を設計して、試す体験は、教師にとって初めてに近い体験であり、教師自身の教育の幅を広げる一助(教師支援)になり得たとも考えている。今後は、研修に参加した教師が学校でどの程度Ex.の設計と実践の行い、どのような成果を挙げているかを検証したいと考えている。

参考文献

- 小林正稔・有沢孝治 2009 「小中学校の教師によるエクササイズ的设计体験の実際とその意義—学級経営研修会での取り組み事例—」『神奈川県立保健福祉大学誌』第7巻第1号 pp.25-35
- 有沢孝治・小林正稔 2010 「エクササイズ的设计体験に対する小・中学校教師の評価」『東海大学紀要教育研究所』第18号 pp.65-75